



7月17日（金）に第2回学校運営協議会を実施しました。

当日は終日ねぶた制作日であり、委員の皆様には自治会執行部生徒の案内のもと、その制作の様子を見学していただきました。

《熟議テーマ》

《報告》

- ①弘高祭と弘高ねぶたの持続可能性において
- ②国際交流・異文化体験プログラム開発について
- ③学校の在り方地区検討委員会（中南地区）
検討結果報告書より」



～本日の内容について、委員からの御意見、御質問～

5年後、10年後に中学校卒業予定者数が減少することに伴い、学校配置・統廃合が進んでいくことになると思う。学校の在り方地区委員会ではオブザーバーとしての参加のため意見を言える場面がないが、他にも県教委に対して学校として意見を言える場があるので、いろいろと働きかけていきたい。

先生からお話が合ったように、昼休みに英会話の練習をした上で、観光ガイドボランティアに参加してくれるということで本当に心強く思っています。

弘高ねぶたの時期になると俄然張り切る生徒もいれば、消極的になる生徒もいると思う。消極的な生徒に意見を聞けば、ねぶたのデメリットが見えてくるのではないかと。

それぞれの説明について、ご意見。ご質問がありましたら、お願いします。



公立高校の再編を考える際に、私立高校の再編も当然のごとく考えるべき。キャバが決まっていますから。私立も特性のある授業を展開していますから、私立・公立の定員数という考えに県教委は立っているのか。

国際交流の取組が、生徒一人一人の成長実感につながっていくところが大切だと思っているので、体験したことが一人一人の経験として落とし込んでいくために、振り返りであったり、自分の意味を確認するための省察であったり、そういう機会をもってほしい。

海外研修について、無利子の融資制度のようなものがあれば、保護者も前向きに考えてみようかという感覚になれるのではないかと。

次回の学校運営協議会は、12月中旬～下旬に実施の予定で、探究の持続的な体制づくり、部活動改革、学校における働き方改革等について熟議を行う予定です。